

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域交通バス利用推進事業
事業主体 (連絡先)	根羽村
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	803,000 円 (うち支援金: 255,000 円)

事業内容

阿智・平谷・根羽村の高校生以下の住民を対象に、各村でおすすめたいもの、紹介したいもの等をテーマに4月26日から6月4日までの間、図案を募集し地域住民がより愛着が持てるものとした。6月7日に三ヶ村の村長による選考委員会で、採用図案を決定し、新規購入のバスにラッピング加工を行った。

また、デザイン採用者が根羽学園4・5年生であったことから、8月31日にラッピングされたバスを利用し、乗り方教室を実施し、コミュニティバスの利用促進を図った。

更に、10月1日発行の村広報誌に掲載し住民への周知を図った。



【審査会・バス・乗方教室】

【目標・ねらい】

- ① 地域住民からの愛着
- ② 下伊那西部地区のPR
- ③ 公共交通機関への認識強化

事業効果

① 阿智・平谷・根羽村の高校生以下の住民よりデザインを募集することで、コミュニティバスへの愛着を持たせた。

② 募集テーマを地元で好きなものにしたところ、三ヶ村の風景、ゆるキャラと西部地区をPRできるデザインが応募され、地域外の方々にも、当地域をPRできるものとなった。

③ 自分たちのデザインが採用されたこと、乗り方教室により公共交通機関への認識が強化された。

※自己評価【B】

【理由】

利用状況等今後の状況を見ないと判断できない面が多いが、乗り方教室における子どもたちの反応などから目標は達成したと判断している。

今後の取り組み

今年度は乗り方教室を根羽村だけで実施したが、運行ダイヤと調整しながら平谷村・阿智村でも乗り方教室を検討し、交通機関への興味付け等を行う。

各村で行われているフォトコンテストに、ラッピングバスをテーマにした部門を入れるなどし、地域内外へのPR題材として活用する。